

長岡京市環境の都づくり会議 15周年記念誌

15年のあゆみ



八条ヶ池 2016年4月 撮影：渡辺節郎



“環境の都”長岡京PRキャラクター
「ミヤコちゃん」

目次

挨拶

02 江川宗治（長岡京市環境の都づくり会議代表）

03 中小路健吾（長岡京市長）

来賓挨拶

04 小田 豊（前長岡京市長）

滝川和宏（長岡京市環境経済部長）

真継壽男（当会議設立時の経済衛生部次長兼生活環境課長）

木原浩貴（京都府地球温暖化防止活動推進センター事務局長）

05 15年の歩み

09 里山再生 プロジェクト

10 ビオトープ プロジェクト

11 竹林再生 プロジェクト

13 花を咲かそう プロジェクト

14 エコチーム

15 環境教育 プロジェクト

16 環境の都ニュース・ホームページ

17 会則

18 役員体制

あとがき



イラスト/船越 聡

- 表裏の背景写真・・・・・・ 長岡公園テニスコート横の竹やぶで、毎年10月に開催される竹あそびの会場になっています。当会竹林再生PJTがH20年から市の委託を受けて整備しています。
- 表紙写真・・・・・・ 八条ヶ池の桜と前方は長岡天満宮参道のキリシマツツジです。キリシマツツジ（市の花）は4月下旬から5月上旬が見頃です。
- 裏表紙 ホリヤブ・・・・・・ 長岡京市名産のたけのこを生み出すよく手入れされたたけのこ畑（ホリヤブといいます）です。
- キヌガサダケ・・・・・・ 6月頃から竹林再生で取り組んでいる竹藪で見られます。レースをまとったような優美な姿から「キノコの女王」と呼ばれています。
- ササユリ・・・・・・ 里山再生に取り組んでいる西山では6月頃から咲き始めます。ササに似た葉とうすもいろの可憐な花です。花言葉は清浄、上品です。
- 犬川・小畑川合流点・・・ 西山遠望、高い山は愛宕山です。西山は北は愛宕山、南は天王山までです。

「環境の都」を目指して、更なる前進を！！

今ならまだ温度計の上昇を止められる！

長岡京市環境の都づくり会議 代表
江川 宗治



長岡京市環境の都づくり会議は、平成 29 年 1 月 20 日で、設立 15 周年を迎えることができましたことを、日頃色んな局面でご協力・ご支援等を頂戴している市民の皆様、企業、商店、各種団体、公的機関の方々のお蔭と深く感謝する次第です。

これまでの歩みを振り返りますと、初期の頃もエネルギーに様々な活動に取り組んでいた事が再確認できましたが、今ではメンバーの変遷もあって出来なくなっている活動もあります。

また、近年の大きい外部環境変化としては、平成 25 年 4 月には市の『第二期環境基本計画』のスタートに伴う大きな政策転換があり、発足時から手を携えて『環境首都への道』を歩み、当会の事務局も担っていただいていた環境経済部環境政策監（現在の環境政策室）がその業務から退かれました。

これに伴い、長年にわたり当会と市の共催で定例開催してきた“長岡京市民環境フォーラム” / “子ども環境フェスティバル” は市の単独開催となり、“長岡京市環境フェア” の名称で行われるようになりました。（因みに、環境フェアの名前はその 2, 3 年前から使われています。）

新たな体制となりましても、今後も行政はもちろん、他の団体・企業・商店等との連携を重視し、協力し合って“環境の都づくり”の更なる前進を図って行きたいと思えます。

一方、最近のうれしいニュースとしては、昨年 7 月 23 日に『西代里山公園』がグランドオープンしたことです。その活用については行政を中心に関係者でこれからも詳細を議論し、詰めて行かれると思いますが、立地適正を見ても“環境首都宣言”をしている本市にとってそのシンボリック的存在になりうるものと考えています。環境保全活動に取り組んでいる活動団体としては是非その期待に応えてもらえるよう強く働きかけて行きたいと考えています。

また、当会の認知度向上もあり、他団体等との多方面な連携・協働取り組みが増えて、活動の拡がりや深みを感じられるようになってきたことも前進の証と思われれます。

具体例を挙げますと、

- 長岡京竹あそび：運営を担当している長岡京竹あそび連絡協議会の中核を当会メンバーが担っており、昨年で 8 回目を開催し、60 団体の参加があり、他団体との交流が活発化しています。
- みどりのサポーター活動・・・“花を咲かそう P J T” が中心となって西山体育館 2 階庭園と中央公民館前庭を担当しており、この活動に女性団体“花にしき”が賛同していただいで一緒に楽しく活動しています。（竹あそび用の竹伐採等にも協力いただいています。）

この他 15 年間の活動には以下のような特徴的な活動もあります。

● 市民共同おひさま発電所設置運動：

『ゆりかご保育園』“サンさん 1 号”(5kW) 設置（平成 16 年 3 月運転開始し、現在も稼働中）

『海印寺保育園』“サンさん 2 号”(10kW) 設置（平成 20 年 1 月運転開始し、現在も稼働中）

● 市民環境フォーラム（共催時 H14 年～H24 年の 11 年間）：：延べ 16 回 開催、約 1,200 人 参加

● 環境の都ニュース：隔月発行 90 号迄発行済、臨時号 2 回 の計 92 回発行

● 「京都環境フェスティバル」（京都府主催）・・・平成 16 年～平成 26 年、平成 28 年出展

● “自然と人間の共存をねがって”（村田泰隆氏の“蝶の写真展”）共催（平成 23 年 9 月）

● アゼリアエコクール大作戦・・・アゼリア通り商店街との共催（市も協力）で平成 21 年から継続

環境の都づくり 15周年を祝して



長岡京市長
中小路 健吾

長岡京市環境の都づくり会議が発足から本年で15周年を迎えられ、ここに記念誌が発行されますことを心よりお祝い申し上げます。

貴会議は、発足の目的であります「つむぎ織りなす環境の都」の実現を目指し、持続可能な地域社会づくりのための取り組みを積極的に進めてこられました。これもひとえに、江川代表をはじめ会員各位の御努力と熱意の賜物であると敬意を表します。

さて、私たちの暮らすこの地球は、自然が持つ復元能力を超えた負荷を私たち人間の活動から受けてきたため、このままでは将来にわたり深刻な問題が発生することが予測されています。地球温暖化やオゾン層の破壊、砂漠化、生物の種の減少などの地球規模の問題のみならず、大気汚染や水質汚濁、ごみ問題、水害など私たちの身の回りの地域環境にも大きな影響を及ぼします。

環境問題は、規模の大きさや範囲の広さなどから自分たちの普段の暮らしにつなげにくく、また、一人ひとりが環境に与える影響度が小さいことなどから、どうしても具体的な取組意識は希薄になりがちです。しかしながら、一人ひとりの意識が高まり、少しずつでも取り組みの成果が集まれば大きな結果につなげられることは間違いありません。

本市では、市民の環境に対する意識は非常に高く、持続可能なまちづくりを目指した取り組みも早くから行われてきました。貴会議にもご尽力を頂きました長岡京市環境基本計画や「“環境の都”長岡京市環境都市宣言」などで取り組み姿勢を明確にし、各種の環境施策をオール長岡京で進めてまいりましたことは、本市の強みであり魅力であると確信しております。

私は、先人達の御努力により培われた本市の魅力、強みを活かし、“環境の都”長岡京市の実現を目指して、「定住の促進」「交流の拡大」「まちの新陳代謝」を政策の基本として市政を進めてまいりたいと思います。市政運営には、市民の皆さんとの対話と協働を重視し、誰もが「住みたい 住み続けたい」と思えるまちの実現に向け邁進してまいりたいと思いますので、今後とも御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

結びに当たりまして、環境の都づくり会議のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝と御活躍を心から祈念いたしまして、私からの御挨拶とさせていただきます。

祝辞 — 発足十五周年を迎え —

長岡京市前市長
小田 豊



長岡京市環境の都づくり会議が、発足から十五周年を迎えられたことを衷心よりお祝い申し上げます。今日まで携わってこられた皆様のご苦労とご努力に対し、改めて敬意と謝意を表します。

当時、地球温暖化、森林破壊等地球規模の問題として認識され始め、大量生産・大量消費というライフスタイルの変革や持続可能な社会への転換などが求められていました。

私は、「創造と共生で住みつづけたい長岡京」を市政運営の基本理念とし、「環境」「健康」「安全」をキーワードに、「環境の都」長岡京市環境都市宣言」や環境フェアの開催、環境基本計画の策定、西山森林整備の推進などの施策を進めてまいりました。

これらの取り組みのほとんどは貴会議のご尽力なくしては、具体化できなかったと言っても過言ではありません。この場をお借りしまして、改めて心より感謝を申し上げます。

社会は大きな転換期にあります。持続可能な地域社会づくりの要請の高まりに伴い、貴会議の役割と期待もますます高まるものと思われまます。

貴会議のますますのご発展と皆様のご健勝を心よりご祈念申しあげ、お祝いの言葉といたします。

計画策定当時に思いをはせる

当会議設立時の
経済衛生部次長兼生活環境課長
真継 壽男



環境の都づくり会議設立15周年おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

計画策定前、京都市の『京（みやこ）のアジェンダ21フォーラム』に参加する機会を得ました。フォーラムでの「自分たちがつくった計画」という言葉には、従来型の手法、体制での枠組みでしか計画づくりを考えていなかった自分にとって大きな衝撃でした。環境基本計画は「こうあるべき」という想いが原点となり、専門性、経験のある講師、コーディネーター等の人材のある「環境市民」（環境NGO）に意見の調整役、先導役をお願いし、公募委員による「市民環境会議」を計画策定の主体として位置づけて計画づくりを始めました。毎回、6～8人ほどのグループによるワークショップを行い、エコシティ連続講座が始まった頃からは、京都市や大阪市内はもちろんのこと、速くは姫路市や島根県からも学生さんがワークショップに加わるなど、いつも50名近いサポーターで会場は満席でした。環境基本計画にはたくさんのリーディングプロジェクトが提案されています。これらすべてがワークショップでつむぎ出されたものです。

久し振りに環境基本計画を見る機会を得ました。あの時の大会議室での熱気が懐かしく思い出されます。環境の都づくり会議の益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。

今ある環境をいつまでも！

長岡京市環境経済部長
滝川 和宏



長岡京市環境の都づくり会議が、設立15周年を迎えられましたことに、心よりお祝いを申し上げます。

これまでの間、確かな歩みを続けてこられたのは、会員のみみなさまの並々ならぬ情熱と日々の弛まないご努力の賜物であると深く感謝をいたしております。

さて、21世紀は、環境の世紀と言われてきました。国際社会が多様化する中で、持続可能な社会へと大転換を図る時代を迎える中、私たちは、21世紀が、確かに「環境の世紀」だったと、胸を張って言えるような取り組みをおこない、今ある環境を損なうことなく次世代に引き継いでいかなければなりません。

そのような中、長岡京市環境の都づくり会議におかれましては、各分野において多岐にわたりプロジェクトチームを立ち上げるとともに、市内外の環境団体、関係機関との連携協働のもと、多様な事業活動をおこなってこられた結果、環境に対する意識の向上にも寄与されるなど、着実な成果を残されてきました。

今後とも本市の環境行政にご理解とご協力を賜りますとともに、長岡京市環境の都づくり会議のますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝とご活躍を心からご祈念いたしております。

笑顔あふれる都づくりの活動をこれからも！

京都府地球温暖化防止活動推進センター
事務局長
木原 浩貴



創立15周年、おめでとうございます。

平成15年に開催した当センターの設立シンポジウムにおいて、先進事例として、事例報告とパネルディスカッションでご登壇いただいたのが長岡京市環境の都づくり会議さんでした。以来、皆様には当センターもずっとお世話になっております。

「長岡京市環境の都づくり会議」と聞いて私が真っ先に思い浮かべるのは、メンバーの方々のニコニコとした笑顔です。今、パリ協定の発行で世界は温室効果ガス排出実質0へとかじを切り、私たちは大きな変化に直面しています。また、地域の様々な環境問題も解決したわけではありません。そんな深刻な問題だからこそ、深刻ゾラはせず、笑顔で多くの人を巻き込んでいく。このスタンスこそが今まさに必要なのだとあらためて感じています。

笑顔あふれる皆様の活動が、今後も継続し、ますます発展していくことを祈念いたします。

これからもよろしくお祈りいたします。

環境の都づくり会議 15年の歩み

平成	環境の都づくり会議の歩み	内外の環境トピックス
11年	『長岡京市環境基本計画』立案プロジェクト発足、「街づくり」「自然」「循環」	ダイオキシン特別措置法制定
13年	「N.W.」四部会	環境庁が環境省に改編
14年 (2002)	3月『長岡京市環境基本計画』策定完了；8月「長岡京市環境の都づくり会議」会則 ≪ 1月20日「長岡京市環境の都づくり会議」正式発足 ≫ 第1回「長岡京市民環境フォーラム（以下「市民環境フォーラム」と称す）開催 3/21 第2回、6/15 第3回、10/26 第4回と年4回の市民環境フォーラム開催	京都議定書批准（我国） 2/27 長岡京市「ISO14001」の認証取得
15年 (2003)	3/29 第5回 市民環境フォーラム “市内の生物と自然を考える” 4月「市民共同おひさま発電所」設置活動開始、10月第6回 市民環境フォーラム	* EU環境規制強化(RoHS指令)、(WEEE指令) 採択
16年 (2004)	3/25 ゆりかご保育園おひさま発電所 “サンさん1号” 完成、点灯式 5/16 第7回「市民環境フォーラム」手作り寸劇、12月「京都環境フェスティバル」に初出展	景観法制定 外来生物法制定
17年 (2005)	2/16 京都議定書発効記念行事に参加、5月 第8回「市民環境フォーラム」、 11月第9回「市民環境フォーラム」開催、“小泉川ビオトープ” 建設活動	* 京都議定書発効(2/16) 愛・地球博開催 (3/25～9/25)
18年 (2006)	11/18 第10回「市民環境フォーラム」 “天ぷら油で車を走らそう” 12/9,10「京都環境フェスティバル」に出展	* EUでのRoHS（ローズ）指令施行
19年 (2007)	市内環境諸団体等との協働取組みで「西山ファミリー環境探検隊」発足 4月「市民共同おひさま発電所」2号機設置活動開始、 11月 第11回「市民環境フォーラム」開催	容器包装リサイクル法改正 海洋基本法制定・施行 * EUでのREACH規制発効
20年 (2008)	1/19 海印寺保育園おひさま発電所 “サンさん2号” 完成・点灯式、 「西山ファミリー環境探検隊」開催、 11月 第12回「市民環境フォーラム/子ども環境F」開催	生物多様性基本法制定・施行 * 京都議定書第一約束期間開始
21年 (2009)	長岡京市が『環境都市宣言』を行った；アゼリアエコクール大作戦実施 12/12 宣言記念 “環境フェア” / 第13回「市民環境フォーラム」開催 花を咲かそう PJT 西山体育館 2階庭園整備、第1回長岡京竹あそび参加	* 気候変動枠組条約第15回締約国会議で世界の気温上昇を2以内に抑えるという数値目標
22年 (2010)	3月 第3回環境講演会、6月 第4回環境講演会、7月 環境教育 M50 回記念会 11/28 第14回「市民環境フォーラム/子ども環境フェスティバル」開催 環境省里地調査に参加。すくすく教室；竹の子掘り体験、竹炭焼、水質調査	* 生物多様性条約第10回締約国会議（名古屋）で、国連は2010年を「国際生物多様性年」と制定
23年 (2011)	9/21～25 自然と人間の共存環/蝶の写真展(村田泰隆氏) 共同開催 第15回「市民環境フォーラム/子ども環境F」開催、第5回環境講演会、西山F環境探検隊、長岡京竹あそび、京都環境F、乙訓リサイクルフェア、ガラシャ祭、等	3月11日『東日本大震災』発生

京都府産

たけのこ

こだわりの商品を全国へお届けいたします

小川食品工業株式会社

〒617-0833 京都府長岡京市神足四反田13

TEL:0120-438-166 FAX:0120-151-795 URL:http://www.takenoko.co.jp

平成	環境の都づくり会議の歩み	内外の環境トピックス
24年 (2012)	H17年から取組みを開始した放置竹林整備活動は24年度末で延べ10箇所、15300m ² の竹林整備を実施。金ヶ原竹林「小鳥がさえずる憩いの森」作りも。 第16回「市民環境フォーラム/子ども環境F」開催、第6回環境講演会、長岡京竹あそび、京都環境F、省エネ相談会、西山F探検隊、乙訓Rフェア、等	4月21日「京都第二外環状道（にそと）」完成
25年 (2013)	第二期環境基本計画のスタートに伴い、市が担っていた当会事務局業務から手を引かれた。 4月から多世代交流ふれあいセンターに事務局スペースを借用。 長岡京市環境フェア/第17回「市民環境フォーラム」、第7回環境講演会、長岡京竹あそび、京都環境F、省エネ相談会、西山F探検隊、乙訓Rフェア、等	4月1日「長岡京市第二期環境基本計画」がスタート
26年 (2014)	市のステップアップチャレンジ取組みとして「長岡京市環境検定」と「省エネチャレンジ」が始まり、当会の会員が中核メンバーとして参加している。 長岡京市環境フェア、環境講演会、アゼリアエコクール大作戦、長岡京竹あそび、京都環境F、省エネ相談会、西山F探検隊、乙訓Rフェア、環境教育Meet'g等	
27年 (2015)	小学校放課後子ども教室（“すくすく教室”）には、以前から当会の色んなPJTが協力しているが、現在、エコ・ピオトープ・竹林再生・環境教育の4PJTが参画。 竹の子蹴り隊、六小井戸掘り（ピオトープ用）協力、環境講演会、西山F探検隊、省エネ相談会、長岡京市環境検定、長岡京竹あそび、長岡京市環境フェア、等	12月 COP21にて『パリ協定』が採択された
28年 (2016)	環境の都ニュースは28年1月号（No.85）より全面カラー印刷化を図った。これに伴い隔月発行を3ヶ月毎の年4回発行（1、4、7、10月）とした。 竹の子蹴り隊、環境講演会、西山F探検隊、アゼリアエコクール大作戦、省エネ相談会、長岡京市環境検定、長岡京竹あそび、長岡京市環境フェア、等	4月14日『熊本地震』発生 11月04日『パリ協定』発効 (地球温暖化対策の新しい国際ルール)



▲ 第1回市民環境フォーラム(2002)



▲ 第5回市民環境フォーラム(2003)



▲ サンさん1号点灯式(2004)

心とからだの健康をサポートします。



* 阪急「西山天王山駅」から徒歩3分*

シャトルバスを
運行しております。
JRでお越しの皆さま
「長岡京駅」へは
どうぞこのバスをご利用ください。



<http://www.nagaoka.or.jp>

一般財団法人 長岡記念財団



NAGAOKA HEALTHCARE CENTER
長岡ヘルスケアセンター
●精神科 ●心療内科 (長岡病院)

〒617-0843 長岡京市友岡4丁目18番1号
TEL(075)951-9201〈代〉



老人保健施設
アゼリアガーデン

〒617-0843 長岡京市友岡4丁目114番地
TEL(075)957-1112〈代〉

環境の都づくり会議 プロジェクト活動の歩み

H13年	環境基本計画答申(4月1日)後、環境の都づくり準備会議などを重ねる。 一部のプロジェクトは会議発足以前より活動を開始
H14年	1月20日、長岡京市環境の都づくり会議発足(代表に鶴野氏就任) 会発足と前後してH13~14年にかけて以下の9つのプロジェクトがスタート、()内は代表 ①歩いてまち再発見(市木)、②生ゴミと農業(後藤)、③エコストア(桑垣)、④情報ネットワーク(永井) ⑤里山再生(加藤)、⑥エコチーム(江川)、⑦ピオトープ(湯川)、⑧環境教育(西村)、⑨花を咲かそう(大日) その後、①はまち歩き、②は生ゴミ減量(粟津)に名称とリーダーを変更 環境の都ニュース発行開始 平成14年1月1日第1号発刊(広報担当に湯川智子氏就任)
H15年	①、②、③、④は発展的に解消し、以下の5つのプロジェクトに再編。 「里山再生」、「エコチーム」、「環境教育」、「ピオトープ」、「花を咲かそう」 *里山再生は里山再生市民フォーラムに参画して活動
H16年	長岡京市環境の都づくり会議、代表交替(代表に江川氏就任) 環境の都ニュース広報担当交替(草場氏が就任)。エコチームリーダー交替(村上氏就任)。
H17年	5つのプロジェクトの加え、「歩いてまち再発見」と「まち歩き地元学(柳沼)」がプロジェクトとして発足 また、ピオトープPJTの中に「竹林再生部会」が発足(部会リーダー:渡辺氏) 花を咲かそうリーダー交替(湯川智子氏就任)
H19年	1月20日、長岡京市環境の都づくり会議 5周年。5周年記念誌発行。 「歩いてまち再発見」と「まち歩き地元学」が「まち歩き」(リーダー柳沼氏)に再編。6プロジェクトとなる。
H21年	エコチームリーダー交替(代表に田原氏就任)
H22年	広報担当交替(山本氏が就任)
H23年	ピオトープPJTから竹林再生PJTが分離・独立。リーダーに渡辺氏就任。プロジェクトは7つとなる。
H24年	1月20日、長岡京市環境の都づくり会議 10周年。10周年記念誌発行。
H25年	花を咲かそうPJTが長岡京市緑の協会の運営する「緑のサポーター」に登録。
H27年	広報担当交替(西村氏(兼任)が就任)
H28年	広報担当交替(中嶋陽子氏が就任)



▲小泉川ピオトープ(2005)



▲京都環境フェスティバル(2006)



▲第1回西山ファミリー環境探検隊(2007)



一般建築土木工事 設計施工 柳谷楊谷寺御用達
管 工 事 設計施工

株式会社 藤井

株式会社 フジイテック

〒617-0853 京都府長岡京市奥海印寺火ノ尾 30

TEL 075-956-7066

FAX 075-956-5875

プロジェクト歴代リーダー・サブリーダー

プロジェクト	年度	リーダー	サブリーダー	現会員数	
				専任	兼任
里山再生	H13~28年	加藤克己		3	2
ピオトープ	H14年	湯川智子			
	H15年	草場克彦			
	H16~20年	小根田勝信	奥西弘武、井上巖、神山 忠、渡辺節郎		
	H21~26年	小根田勝信	奥西弘武、神山 忠、渡辺節郎		
	H27~28年	神山忠	奥西弘武、小根田勝信	3	14
竹林再生	(H17~22年ピオトープ内分科会として発足・活動：リーダー渡辺節郎)				
	H23~26年	渡辺節郎	湯川圭造		
	H27~28年	湯川圭造	渡辺節郎	17	4
花を咲かそう	H14年	大日美紀子			
	H15~28年	湯川智子	奥西弘武(H17年~)	3	14
エコチーム	H13~15年	江川宗治			
	H16~20年	村上 薫	田原誠一郎		
	H21~28年	田原誠一郎	中田利享、石田次郎	12	2
環境教育	H13~28年	西村日出男		7	2
歩いてまち再発見	H13~14年、17~19年	市木哲夫			
まち歩き	H19~28年	柳沼宣裕		1	1
生ゴミと農業	H13年	後藤和夫			
生ゴミと減量	H14年	粟津達夫			
エコストア	H13年	桑垣豊			
情報ネットワーク	H13年	永井真由			
	H14年	綿野高資			



▲子ども環境フェスティバル(2008)



▲第1回長岡京竹あそび(2009)



▲環境教育50回記念講演(2010)



▲竹林再生活動(2011)



▲花を咲かそう活動(2012)



▲省エネ相談会(2013)



▲第1回長岡京市環境検定(2014)




▲六小井戸掘り作業に協力(2015)



▲ゆめまちフェスティバル(2016)

店では西山の地下水を
ふんだんに使わせていただいて
「生麩」や「小豆漉し餡」を
つくります。
良い水はいいお菓子づくりの
必須条件です。
自然環境に恵まれた「長岡京」
だから、出来ることです。
精進料理由来の、
植物性蛋白質を多く含む、
低カロリー、みずみずしい、
すばらしい和菓子の現代派。
美しい笹の葉つつみ。

京の風雅
なまふ
生麩まんじゅう



みずみずしくナチュラルに
からだに優しいお菓子の店
京都・長岡京
みずは
北川

長岡京市つくす台1の3 07595410400

市民参加の里山再生 プロジェクトの活動

リーダー 加藤 克巳

里山再生プロジェクトは平成13年度より活動を開始、平成15年度からは里山再生に関心をもつ一般市民と森林ボランティア団体が一緒になった「長岡京市里山再生市民フォーラム」に参画する形で活動を行っています。里山を手入れすることにより、水、土、空気を生き生きさせ、生物の多様性を維持することなどを目的に「四季を感じられる山」「子どもや市民が魅力を体験できる山」を目標に活動中です。

西山の里山機能を再生させるため、産、官、学、市民からなる「西山森林整備推進協議会」が平成17年度に発足しました。西山森林整備推進協議会主催の西山ファミリー環境探検隊は平成28年度で10年目になります。西山ファミリー環境探検隊は年4回実施している次世代向け環境教育で、当会議の他、京都市立大学ボランティアサークル「森なかま」など多くのスタッフが参加、協力しています。



▲平成26年 ファミリー環境探検隊・春の部



▲平成27年 ファミリー環境探検隊・夏の部



▲平成27年 秋のクリスマスリース作り



▲平成25年 ファミリー環境探検隊・冬の部

「つなげたい みどりの西山 未来の子らへ」

長岡京市の西域に位置する「西山」。その豊かな森林環境の保全や育成を推進するために、森林所有者、地域住民、企業、NPO、大学、行政等が連携して取り組んでいます。

あなたも森林ボランティア活動に参加しませんか。

西山森林整備推進協議会



長岡京市開田 1-1-1 TEL 075-955-9687

ビオトーププロジェクトの活動

リーダー 神山 忠 / サブリーダー 小根田 勝信

活動テーマ

ビオトープとは「生き物のいる場所」の合成語です。近年、地球温暖化や環境破壊で生き物の住める環境がどんどん奪われています。私たちはビオトープ作りや野外学習を通して、子供たちに自然環境の大切さを身を持って体験して貰っています。

発足から10年の主な取り組み

小泉川や小畑川に子供達と一緒にビオトープを作り、そこで生き物たちがどのように棲み、育っていくか、周りの環境がどう変化していくかを学んできました。

最近5年間の主な取り組み（体制は約10名）

① 小学生の放課後学習としての“すくすく教室”を自然の中で開講しています。

《春》 筍掘り体験（長岡天神公園内竹藪を利用）

《夏》 小泉川川遊び学習

（清流での水生生物調査やサワガニ・小魚取りを体験）

《冬》 炭焼き体験学習

（光明寺北側の竹林で炭焼きや竹の玩具遊び、竹伐り等を体験）

《通年》 金ヶ原竹林フィールドアスレチック

（自然を活かした手作り遊具体験など）

② 小学校への出前授業

（竹や筍の不思議な仕組みなどの勉強）

③ 環境フェアなどイベントへの参加

（竹炭を使ったお絵かき教室開講など）

④ 竹炭焼き

（竹林整備で排出した竹材で炭や竹酢液づくり。土壌改良や環境改善に利用したり、環境フェアなどで配布して、炭の効用をPR）

環境フェア ▶



▲ 竹炭焼き



◀ 川遊び



▲ 出前授業

私共と一緒に活動頂ける方、大歓迎です。
是非、お声掛け下さい！！



信頼づくりで地域と暮らしを支援
有限会社 長岡美装社
(廃棄物収集運搬業)

長岡京で、半世紀の実績

☎ 0120-08-7903

TEL 075-953-7903 FAX 075-953-8860

〒617-0823 長岡京市長岡1丁目34番25号

環境ボランティアとして、家庭から出る使用済みてんぷら油の回収をしています。



勝電寺城公園前

竹林再生 プロジェクトの活動

リーダー 湯川 圭造

活動のあゆみ

- 発足 ビオトープPJT 内部の部会として
平成 17 年 3 月に竹林再生部会発足
- 独立 平成 23 年 4 月より竹林再生 PJT として分離独立して 5 年、
延べ 12 年目になる。
- 目的 近年、高齢化と農家の後継者不足で西山の放置竹林が拡大し
ている。放置竹林の再生で西山の生態系や緑の景観を守る等、
子供や市民と協働で環境保全に寄与する。

会員

登録会員 28 年度 18 名（ビオトープ、花を咲かそう PJT の兼務者を含む）
平成 24 年度には 23 名の会員であつたが高齢化の影響で年々減少
傾向にある。

活動

- ① 主活動は放置竹林の整備
（活動日：毎月第 1・第 3 月曜日 9～12 時）
9 時中央公民館集合。
放置竹林の整備で最大の課題は古竹の処分です。焼却が一番楽
ですが地球温暖化防止の為に避けなくてはなりません。
6 年前より某団体 より竹を粉砕するチップパーを借用して竹チップ
に加工して土壌改良として畑等に利活用して環境保全に寄与して
います。
- ② すくすく教室の開講：4 月は筍掘り体験、通年では竹林を利用
したフィールドアスレチックでの自然遊び体験を通して子供の心
の成長をサポート。

課題

会員の高齢化（70 才後半）に伴う組織力低下に活動継続への危機
感を持っています。2 年前から女性軍（花にしき）の力で元気を
貰っています。

会員の楽しみ

筍は会員で分配し、シイタケ栽培なども楽しんでます。筍は一部、
業者に引き取ってもらい活動資金に充当しています。何よりも放置
竹林整備で周辺の環境が明るく美しくなり、達成感が得られます。



長岡天神公園で
すくすく教室の筍掘り体験



金ヶ原すくすく教室



茨木高校竹伐り実習

茨木高校の生徒 80 人が竹の学校主催の竹林整備
体験学習に来てくれ、環境の都の竹林再生 PJT も
サポート役として参加しました。



〒615-8041 京都市西京区牛ヶ瀬青柳町 41 TEL.(075)202-9246



自動制御盤設計・制作・機械配線

有限会社

コーユー企画



リバティ竹筒納品

リバティ長岡店で竹筒を販売して頂いています。
竹あそびなど PJT の活動資金に充てています。



チッパーで竹の粉碎
チップは筍畑に散布

花にしきさんと
竹あそび準備の
竹の搬出



五十樓竹林



すくすく教室筍掘り体験
(長岡公園竹林)



汗の報酬、筍の収穫



金ヶ原竹林で花にしきさんと
バーベキューパーティ

たくさん掘れた筍を前にみんなで
ジャンケンで山分けしているところです。



ゆりかご保育園筍掘り

■委託竹林の整備状況 9ヶ所 21,690㎡ (約6,500坪)

管理竹林	委託開始日	委託期間	次回更新日	面積㎡	備考
光明寺河合竹林	平成 19年 3月	3年更新	29年 3月	1811	すくすく炭焼き会場
長岡公園竹林	20年 8月	1年更新	29年 3月	3250	すくすく筍掘り会場
金ヶ原竹林	21年 11月	5年更新	31年 1月	4395	すくすくフィールドアスレチック会場
粟生林竹林	23年 6月	3年更新	29年 3月	714	
灰方白井竹林	24年 6月	3年更新	30年 3月	2789	
西乙白井竹林	24年 6月	3年更新	30年 3月	294	
野山林竹林	26年 5月	3年更新	29年 3月	3709	
今里林竹林	26年 5月	3年更新	30年 3月	1728	
五十樓竹林	28年 5月	3年更新	30年 3月	3000	敷地の南半分
合計				21690	

長岡京市生活学校・生活会議

住みよい環境社会の推進活動

1. 食品ロスの削減・フードドライブ運動の推進
2. EM 農園で無農薬栽培による安心・安全な食生活
3. 男女共同参画社会の推進
4. 生涯学習に関する活動

会員募集中

代表者 片山洋子 TEL.951-0093

With the Community

長岡京市女性の会

私たちは1972年の設立以来、女性の地位向上と社会貢献を目指し、今日まで地域に向けた活動を行っています。これからも地域との絆を大切に、男女共同参画、環境、子育て支援、ボランティア活動など、地域に元気を発信します。

女性の会の花
「ひまわり」

「ふれあいの黄色いハンカチ運動」を25年間継続しています。

花を咲かそう プロジェクトの活動

リーダー 湯川 智子

屋外で活動する3つのPJTと、他の女性活動団体とが合流して「緑のサポーター」として活動しています。いまでは総勢40人を数え、体育館、公民館の花壇整備を担当しています。

過去5年間には、花の植え替えだけではなく、独自の試みを実践しています。

専用の苗畑を確保し、黄花コスモス、フジバカマ、葵、菊、紫苑、水仙などの多年草を栽培繁殖させ、担当する花壇のうち40%を多年草化し、年2回の花苗1000株を600株にまで減らし費用と労力の削減ができました。さらに時間的労力の軽減化を図ります。竹林作業の副産物である竹の焼却灰、カラゲシ、竹チップを土壌の肥料、改良剤としての効果を確認中です。

また年末には正月飾り作りを恒例行事とするなど、合流した団体とは互いの活動に協力する関係が保て、楽しみいっぱいのPJTです。



正月飾り作り



花の植え替え

2015/06/04 09:49



公民館で勢ぞろい

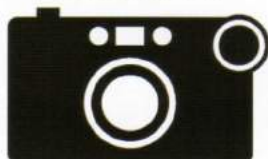


公民館ベンチ



体育館で勢ぞろい

FILM PRINT
DIGITAL PRINT
PORTRAIT



ヤスイカメラ

写真はかけがえのない記録
そして言葉の要らないメッセージです。

思い出の貴重な映像

8mm フィルム・VHS・ベータ・カセット他

ダビングします。

各種現像・出力・撮影承ります。
まずはお気軽にご相談ください。

京都府長岡京市今里 3-9-2

TEL.075-955-4450

www.yasuicamera.com

エコチームの活動

リーダー 田原 誠一郎

「エコチーム」は、自然エネルギーを利用した発電や、省エネやごみの削減等地球温暖化防止につながる「エコ生活」を普及するよう啓蒙活動と実践を行っています。

1. 小学生、幼児を対象とした活動

小学校や保育園・保育所、公民館等で、太陽光発電や風力発電などの発電あそび、食材を使った色あそび等の環境学習を実施しました。特に小学校の放課後子ども教室（すくすく教室）では、全学年で毎年多くの児童が「環境科学あそび」を楽しみ、地球温暖化について楽しく学ぶことができました。



●牛乳パックを使ったぶんぶんゴマ工作は特に人気があります。

2. 市民を対象とした活動

日常の家庭生活を振り返り、エネルギーの使い方を見直す省エネ相談会を、毎年市役所や公民館で開催しています。多くの市民にエネルギーを大切に使うことの必要性を知ってもらうことができました。

乙訓リサイクルフェアや京都環境フェスティバルでは、使用済みの牛乳パック、ペットボトル、アルミ缶を使ったリサイクル工作を通じて、多くの市民や子供たちと廃棄物の再利用を楽しみながら、ごみ減量の方法について話し合いました。



●最近では市民の方の省エネへの関心がずいぶん高まりました。

5年間の実績と感想

過去5年間でエコチームは約4000人の小学生や保育園児、市民の方々と環境問題について話をさせていただきました（別表参照）。この間、特に小学生や保育園児が年々増加してきました。一般市民の方も合わせて、長岡京市民の約5%の方々と環境問題について考えてきたこととなります。活動を通して多くの園児や小学生からすなおに受け取りすぐに実行できることを、また市民の皆さんからは省エネ相談などで沢山の知恵と工夫を頂きました。楽しい時間をありがとう。エコチームの皆さんと楽しく活動を始め気候変動への取りくみをしませんか。

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	合計
1. 小学生、幼児を対象とした活動						
(1) 小学校すくすく教室	112	283	359	391	419	1564
(2) 保育園・保育所での環境あそび	0	0	84	64	267	415
(3) 環境学習、その他のイベント	82	156	43	79	153	513
2. 市民を対象とした活動						
(1) 省エネ相談会の開催	81	52	68	73	148	422
(2) 各種イベントへの出展	300	180	250	200	200	1130
合計	575	671	804	807	1187	4044

市民共同おひさま発電所 サンさん1号設置園



社会福祉法人 ゆりかご会

ゆりかご保育園

〒617-0823 京都府長岡京市長岡1丁目17-15

TEL. 075-954-6410 FAX. 075-954-3599

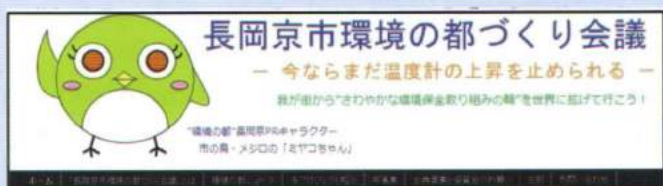


「環境の都ニュース」の変遷

活動の総括と広報のために「環境の都ニュース」を発行しています。2002年1月に第1号が発行されて2017年1月号で90号になります。草場さんの後を受けて、しばらく西村が編集を担当していましたが、56号（2011/3/1）から山本さんに編集をバトンタッチしました。82号（2015/7/1）からしばらく西村が再度編集を担当しました。発行までに、記事集め、編集、校正、印刷、配布、配架など、メンバーが分担して実施していました。元の原稿はカラーですが印刷コスト面から白黒でした。85号（2016/1/1）から、カラー印刷を外注することになりました。広告も取ることにしました。出来上がりは、カラフルで印刷も鮮明です。モノクロに比べたら大満足でした。その後、外部の力を借りることで紙面が改善し、ニュースの消化が良くなりました。どこに出しても恥ずかしくないニュースとなり、発行部数も600部から800部に増刷しました。活動も誇らしく思えるようになり、今後が楽しみです。



「環境の都づくり会議 HP」の変遷



「環境の都ニュース」が大分軌道に乗ってきた頃、HPによる広報も意見が出ました。以前から、京都府地域力・・・の紹介で、無料のホームページ（HP）作成ソフトのJimdoがあるのを知っていましたが、作成には手が回りませんでした。

そこへITに強い若手の三上さんと赤井さんが、長岡京市のホームページから「環境の都づくり会議」

の情報を得て、当会に入会されました。早速、2013年6月に江川代表、三上さん、赤井さん、西村の4人が集まって、フォーマットやパスワードなどを決め、HPを作成しました。ホームには「環境の都ニュース」をアップロードし、各プロジェクトのサイトも作りました。

パスワードはみんなで共有して、各プロジェクトのサイトは自分たちで活動をアップロードするように申し合わせましたが、結局、女性二人に頼ってしまいました。三上さん、赤井さんがそれぞれの事情で海外異動となり、しばらく開店休業でした。そこへ救世主の中嶋さんが入会され、「環境の都ニュース」のアップロードを担当して頂いています。



京錦庵
株式会社 京味食品
高級豆腐、生麩等

代表取締役 石井 進



〒617-0814
京都府長岡京市今里更ノ町15-6
TEL (075) 957-1064
FAX (075) 956-5629
携帯 090-5124-8581
E-mail: ishiisusumu2000@yahoo.co.jp



造園設計施工・庭園管理
石積・植木・芝・住宅外構工事

有限会社
植幸田中造園

〒617-0813 京都府長岡京市井ノ内南内畑54-1
TEL (075) 951-0541 FAX (075) 957-6231

長岡京市環境の都づくり会議会則

(名称)

第1条 この会は、長岡京市環境の都づくり会議という。

(事務所)

第2条 この会は、事務所を長岡京市長法寺谷山13-1
長岡京市多世代交流ふれあいセンター市民活動オフィスフロア内に置く。

(目的)

第3条 この会は、『つむぎ織りなす環境の都』を目指し、市民・事業者・行政
などと協力して、持続可能な地域社会づくりを進めることを目的とする。

(活動)

第4条 この会は、前条の目的を達成するため、各種活動を推進する。

(会員)

第5条 この会の会員は、次の3種類とする。

- (1) 正会員 この会の目的に賛同して入会した個人。
- (2) 賛助会員 この会の目的に賛同して資金援助をする個人・団体。
- (3) 準会員 この会の目的に賛同して活動を実践する個人・団体。

(入会)

第6条 正会員として入会しようとするものは、入会届(別紙様式1)を提出し、
月例会議で承認を得なければならない。

(会費)

- 第7条 正会員の会費は、年間1,000円とする。
- 2 賛助会員は、協賛金10万円年間1,000円からとし、何円でも資金援助が
できるものとする。

(退会)

- 第8条 正会員は、退会届(別紙様式2)を提出し、任意に退会することができる。
- 2 正会員が、次の各号のいずれかに該当する場合には、退会したものとみなす。
- (1) 本人が死亡したとき。
 - (2) 継続して、2年以上会費を滞納したとき。
 - (3) 1年以上連絡が取れず、活動の意思がないものと判断したとき。
 - (4) 会員である団体の「長岡京市環境の都づくり会議」の会が消滅したとき。
(拠出金の不返還)

第9条 会員が納入した会費及びその他の拠出金はその理由を問わず、これを返還
しない。

(役員)

第10条 この会に次の役員を置く。

- (1) 代表 1名
- (2) 副代表 若干名
- (3) 会計 1名
- (4) 監査 2名
- (5) 渉外 若干名
- (6) 広報 若干名

(役員を選出)

第11条 正会員の中から総会において選出する。

(役員職務)

- 第12条 代表は、この会を代表し、その業務を統括する。
- 2 副代表は、代表を補佐し、代表に事故あるとき又は代表が欠けたときは、
その職務を代行する。
 - 3 会計は、この会の会計業務を統括する。
 - 4 監査は、この会の会計監査を行う。
 - 5 渉外は、各種関係団体等との連絡・調整を行う。
 - 6 広報は、この会の活動を広報する。

(役員任期)

- 第13条 役員任期は、原則2年とする。ただし、再任は妨げない。
- 2 役員が欠けたときは、正会員のなかから補充する。ただし、任期は前任者の残
任期間とする。

(総会)

- 第14条 総会は正会員をもって構成し、毎年1回開催する。
- 2 総会は、正会員の過半数以上の出席をもって成立する。
ただし、委任状を含むこととする。

(審議事項)

第15条 総会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 会則の変更
- (2) 役員を選出又は解任
- (3) 事業計画及び収支予算
- (4) 事業報告及び収支決算
- (5) その他運営に関する重要事項

(議決)

第16条 総会に於ける審議事項は、出席者の過半数をもって議決する。

(月例会議)

- 第17条 この会議は、役員、各プロジェクトのリーダー及びサブリーダーにより
構成する。それ以外の者が参加する場合は、代表の承認を得なければならない。
- 2 この会議は、毎月1回定期的に開催し、必要に応じて臨時開催することができる。
 - 3 この会議は、会員の入会の承認、総会議決範囲内の予算の執行、主催・共催・
後援行事の決定などの業務を行う。
 - 4 議決を要する場合は、総会の規定に準ずる。

(事業年度)

第18条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(経費)

第19条 本会の運営に要する経費は、会費、補助金、事業収入、協賛金、その他の
収入をもって充てる。

(会則の変更)

第20条 会則の変更は、必要に応じて総会の議決により行うことができる。

附則

- 1 この会則は、平成13年8月20日から施行する。
- 2 この会則は、平成15年6月10日から施行する。
- 3 この会則は、平成16年7月13日から施行する。
- 4 この会則は、平成21年5月9日から施行する。
- 5 この会則は、平成24年5月12日から施行する。
- 6 この会則は、平成25年5月11日から施行する。

Panasonic
あなたの街のでんきやさん

安井デンキ

長岡京市長岡1丁目25-1

TEL : (075) 951-5963
FAX : (075) 953-5605

西山ものづくり たからばこ

西山の豊かな環境は私たちの宝物!

里山の自然素材にふれて、ものづくりを楽しみましょう。
「ものづくり教室」「夏休み子ども工作教室」「里山勉強会」

✂ ご興味ある方ご案内いたします。

✂ ものづくり企画各種賜ります。

代表・連絡先 大藪美知子 TEL/FAX 075-952-2305
E-mail takarabako@qualia-ohana.com
HP <http://takarabako.qualia-ohana.com/>



役員体制

役職名	氏名
代表	江川宗治
副代表	西村日出男
会計	神山 忠
渉外	加藤克巳
渉外	中田利享
渉外	渡辺節郎
渉外	田原誠一郎
広報	中嶋陽子
監査	木村禎志
監査	小根田勝信



イラスト/船越 聡

プロジェクトリーダー

プロジェクト名	氏名
環境教育	西村日出男
里山再生	加藤克巳
ビオトープ	神山 忠
// サブ	奥西弘武
// サブ	小根田勝信
竹林再生	湯川圭造
// サブ	渡辺節郎
エコチーム	田原誠一郎
// サブ	中田利享
// サブ	石田次郎
花を咲かそう	湯川智子
// サブ	奥西弘武
まち歩き	柳沼宣裕

あとがき

長岡京市環境の都づくり会議が、設立15周年を迎えました。先人の労があったればこそ現在があります。また、同様に現在のメンバーの活動があるから15周年を迎えることが出来ました。

本記念誌は『5年のあゆみ』『10年のあゆみ』に比べて、より多くの記録を掲載しています。それは我々が15年という活動の記憶の確かな内に記録に残そうとの思いからです。体力は少し衰えてきましたが、「歴史の都」を「環境の都」にしようという意気込みは衰えることを知りません。この記念誌を見て頂ければお分かり頂けたと思います。若い人（気持ちだけでも）の入会を歓迎しています！

中小路市長様をはじめ、4名の方から励ましと期待の込められた温かい祝辞を頂きました。これからの活動の励みにして参りたいと思います。

なお、この記念誌は編集に安楽様のお力をお借り出来たこと、また船越様には素晴らしいイラストを挿入して頂いたことで、これまでとは比べ物にならないほど立派な冊子に仕上がりました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

(西村日出男)

※この本誌と共に、『15周年記念メッセージ集』も別途発行しています。



店内通路も広くゆっくりお買い物ができる
地域密着型のお店。 **リバティ 長岡店**



●〒617-0823 京都府長岡京市長岡2丁目1-23 ●TEL: 075-953-2501
●営業時間 /9:00~21:00 ●年中無休(元旦のみ休み) ●FAX: 075-951-0305

<http://liberty-nagaoka.com>



春筍(じゅじゅ)焼き



竹の子あんぱん
「のこのこ」

ベーカリーショップ ヤマグチ

長岡京市奥海印寺森の下4 TEL.956-1217



ホリヤブ



キノガサダケ



ササユリ



犬川・小畑川合流点

2017年（平成29年）3月20日発行
発行者：長岡京市環境の都づくり会議
責任者：代表 江川宗治
事務局：長岡京市長法寺谷山13-1
多世代交流ふれあいセンター内
編集者：安楽裕子